

リハ医学：ICF

41-068 国際障害分類 (ICIDH) と国際生活機能分類 (ICF) で誤っているのはどれか。

1. ICIDH と ICF は WHO によって発表された。
2. ICIDH の機能・形態障害には ICF の心身機能・身体構造が対応する。
3. ICIDH の能力低下には ICF の活動が対応する。
4. ICIDH の社会的不利には ICF の参加が対応する。
5. ICIDH の背景因子には ICF の環境因子が対応する。
ICF の背景因子には、環境因子と個人因子がある。
 に背景因子はない。

42-066 国際生活機能分類 (ICF) の用語で誤っているのはどれか。

1. 心身機能・身体構造は心身の生理的・解剖学的状態を示す。
2. 活動とは個人が行う課題または行為の遂行状況を示す。
3. 参加とは障害部位の日常生活での利用状況を示す。
生活、人生場面への関わりのことである。
4. 環境因子とは個人に影響している物理的・社会的状況をさす。
5. 個人因子とは個人的特徴で生活機能と障害に影響する因子をさす。

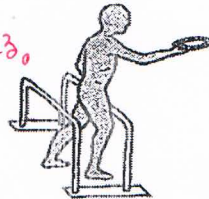
ICIDH 43-066 国際生活機能分類 (ICF) で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. ICD の後継分類として生まれた。
*ICD は国際疾病分類である。
2. 活動とは課題や行為の個人による遂行のことである。
3. 個人因子は環境因子の一つである。
背景因子
4. 活動と参加の領域は単一のリストとして示されている。
5. 能力とはある課題や行為を遂行する個人の実行状況を表す。
能力 (できる状況) ↔ 実行状況は「している」状況

45-A-082 国際生活機能分類 (ICF) で「活動」に含まれる項目はどれか。2つ選べ。

1. 更衣
2. 嚥下 「心身機能」に含まれる。
3. 入浴
4. 呼吸機能 「心身機能」に含まれる。
5. 関節可動域 「心身機能」または「身体構造」に含まれる。

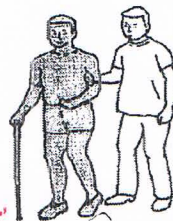
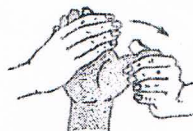
44-063 活動制限に対する治療場面を示すのはどれか。2つ選べ。



1. 立位バランスや上肢のリーチに対する治療であり、心身機能に対して行われる。



2. 更衣訓練である。
3. 膝の伸筋の筋力増強訓練であり、心身機能に対して行われる。



4. 関節可動域訓練であり、心身機能に対して行われる。
5. 歩行訓練である。

45-P-082 国際生活機能分類 (ICF) で正しいのはどれか。

1. 対象範囲を障害者としている。は、全ての人である。
2. 参加制約という用語は使用しない。する。 { 参加における否定的側面として参加制約という用語を使う。
3. 環境因子は生活機能に大きく影響する。 { 活動 " " 活動制限 " }
4. 活動とは生活への~~かかわり~~あいを指す。課題や行為の個人による遂行のことである。
5. 病因論的な枠組みから健康状態を分類しているのはICD(国際疾病分類)である。
↓ 心身機能・身体構造, 活動, 参加を指す。

48-A-082 国際生活機能分類 (ICF) で「活動」に含まれる項目はどれか。2つ選べ。

1. 入浴
2. 移乗
3. 嚥下
4. 呼吸機能 } 「心身機能」に含まれる。
5. 関節可動域 ... 「心身機能」または「身体構造」に含まれる。

50-A-082 国際生活機能分類 (ICF) で活動に含まれるのはどれか。

1. 嚥下 ... 「心身機能」に含まれる。
2. 歩行
3. 言語表出
4. 呼吸機能 } 「心身機能」に含まれる。
5. 関節の可動性 「心身機能」または「身体構造」に含まれる。